

奥三河 鳳来寺山・宇連山・三ツ瀬明神山（ハイク） 報告

【日程】2016 年 1 月 9 日（土）～11 日（月）

【メンバー】CL 柘植秀樹、SL 鈴木憲二、富樫富久美、吉瀬英子

【天候】1/9 晴れ 1/10 晴れ 1/11 晴れ

1/9(土) 【 鳳来寺山（ほうらいじさん）684.2m 】

10:40 門谷（駐車）－表参道登山口－仁王門－傘杉－鳳来寺本堂－1:25 鳳来寺山頂－12:55 天狗岩－
13:25 鷹打場－鳳来寺東照宮－14:35 鳳来寺本堂－表参道登山口－門谷－湯谷温泉（入浴・夕食）－
三河槇原駅（ステーションビバーク）

三連休初日晴天。千葉を 5 時半過ぎに出発し、新東名高速浜松いなさ IC から鳳来寺山に向かう。駐車場から格子戸のある落ち着いた佇まい家々の並ぶ門前町を通って登山口へ。徳川三代将軍家光の寄進によって本堂とともに建築された朱塗りの仁王門をくぐると杉木立となり、樹齢 800 年高さ 60m の傘杉が視界に入る。1,425 段の石造りの階段は最初歩きやすいが、徐々に急になってゆく。石の階段といい、その周りの石垣もその昔、よくぞここまで積んだもの思う。



門前町入口



鳳来寺の本堂

石の階段を登りきると 703 年に利修仙人によって開かれた鳳来寺に到着。本堂の周りにはひろく、展望台からは遠くに三河湾が見える。本堂の右脇から再び階段になり、急な坂を登りきると緩やかな登山道となり、かつては修行の場であったが現在は倒壊した奥ノ院を過ぎ、約 10 分で鳳来寺山山頂に到着。



奥の院手前の岩場にて



鳳来寺山の山頂



明日登る宇連山



明後日登る三ツ瀬明神山

山頂を過ぎたあたりから、宇連山・三ツ瀬明神山が見える。少し下って、岩棚になっていて、視界の開けた鷹打場に出ました。鷹打場からは、三河の山並みの遥か彼方に白い聖岳をはじめとする南アルプスの山々が見え、とても気持ちが良かったです。



絶景の鷹打場



鷹打場から望む三河方面の山並み

その後、久能山・日光とともに「三東照宮」と称されている東照宮にお参りし、再び長い石段をおり鳳来寺山を後にする。湯谷温泉の『ゆ〜ゆ〜』で入浴と夕食。お宿は三河槇原駅。昨年5月に入会し、道の駅、サービスエリア等々でビバークしたことはありましたが、暖冬といっても1月。しかも無人と言っても駅でのビバークは実は私にとって、今回の山行の1番高いハードルでした。

駅は予想に反し、新しくてきれい。トイレも清潔。ホームと駅前の広場の間にフェンス等はなく、駅舎の脇にあつという間にテントを張り、軽く喉を潤し、明日の行程を確認し、夜7時過ぎには消灯。皆さんは「ダウンパンツは温かいね〜。」と言いながらあつという間に静かになり。11時過ぎの終電まで、5本の電車が発着する駅でのアナウンス放送を何度かは聞いたものの、ダウンパンツは無くてもいつしか眠りにつきました。

1月10日（日）【宇連山（うれやま）929.4m】

7:00 愛知県民の森（モリトピア駐車場）7:30 出発—不動滝—中尾根—東尾根—北尾根—棚山分岐—宇連山山頂 12:00 : 12:20 西尾根—15:00 南尾根展望台—15:40 モリトピア駐車場着 モリトピア愛知泊

朝5時半起床。お湯を沸かし、朝食を済ませ、一晩お世話になった三河槇原駅を後にし、7時に開門する愛知県民の森にゲートに開門10分前に到着。宇連山は愛知県民の森から目指します。コースは不

動滝から中尾根へのコース。整備された登山道を 30 分ほど登ると、白い石と低木のコントラストの美しい日本庭園のような登山道となる。



不動滝



中尾根の登山道はまるで日本庭園

登り始めから 50 分ほどで東尾根に。東尾根付近から林となり、稜線は晴れてはいるものの、時折冷たい風が木々の間を吹きぬける。北尾根道に差し掛かった辺りから、6~70m 登っては下り、また登るというアップダウンを何度も繰り返す。風のない陽だまりで小休止。富樫さんからおにぎりのみかんをいただきパワーアップ。北尾根展望台からは右に富士山山頂、正面に南アルプスが見える。そこからはひたすら登り宇連山への棚山分岐へ。宇連山山頂から三ツ瀬明神山がよく見えた。



北尾根で一休み



右が目指す宇連山、左奥が鳳来寺山



明日登る明神山



宇連山の山頂記念写真

山頂で会った方は「愛知県民の森から宇連山は、いろいろなコースがあって県内の多くの中学生が登る山ですよ。私も25年ぶりに登りました。」とのこと。宇連山山頂で少し休んで西尾根に。そこからは緩やかなアップダウン。途中何か所か、モリトピアまでの近道はあるものの、県民の森外周の登山道を楽しむ。南尾根に差しかかるあたりから岩の白い岩稜が多くなりました。岩の表面はざらざらしていたので、とても歩きやすく、視界も広くとても気持ち良かったです。南尾根展望台からは、鳳来寺山がよく見えました。休憩含んで約8時間余りの行程に満足しました。



西尾根の岩稜



三河牛すき焼きで乾杯（見よ！山盛りの牛肉を）

一泊は暖かい屋内で休めるようにとのリーダーのご配慮から県民の森の宿泊施設のモリトピア愛知に宿泊。1月は特別料金で休日前なのに通常よりもお安く、飲み物1本付いていて、お料理も美味しいのに、ほかに宿泊客は無く貸きり状態でした。入浴後、三河牛のすき焼きをいただきながら話がはずみ、夕食後リーダーは8時前に就寝。トランプをする予定でしたが、私たちも明日に備えて少しおしゃべりして就寝。

1月11日（月）【三ツ瀬明神山（みつせみょうじんやま）1,016.0m】

登山口 8:50 - 三ツ瀬峠 9:40 - 三ツ瀬明神山 11:30 - 登山口 13:40

国道151号を新本郷トンネル手前で左折し、狭い村道を走ってゆくと、石垣を積み上げた大きなお屋敷のある集落を通過。三ツ瀬登山口から二合目三ツ瀬峠までは杉林。手入れのゆきとどいた森の中の登山道を登り、二合目三ツ瀬峠で一休み。少し行くと前方左に大きな岩。いやな予感。予感的中。大きな一枚岩にトラロープと鎖と梯子。「どうしよう・・・。」と内心想う。



登山道わきの大岩壁に冷や汗



洗濯岩をクサリで登る

見抜かれたように「ゆっくり行くよ〜。」と諸先輩。トラロープや鎖、梯子で岩をよじ登る。その後六合目を過ぎるまでは静かな雑木林を楽しむのも束の間、第二関門の八合目の馬の背岩といくつかの岩場を巻きながら山頂へ。



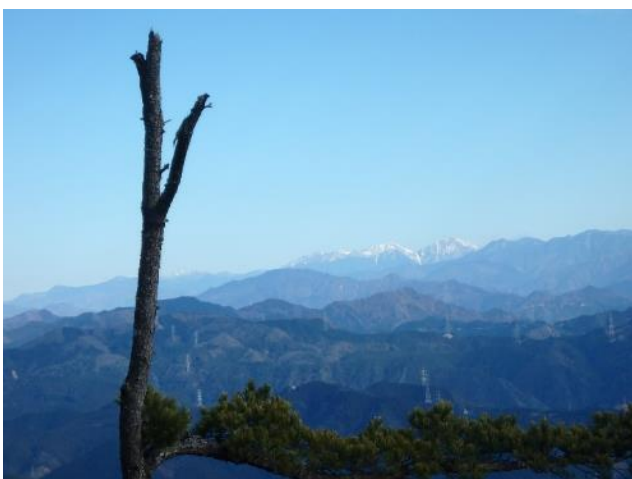
乳岩ルート合流点手前から望む明神山



いくつもの岩場を越える



明神山山頂の展望台にて



山頂展望台から南アルプス南部をクローズアップ

山頂には展望台があり、南アルプスの山々が今までで一番大きく見えました。景色を楽しんだ後下山。八合目馬の背岩通過。



馬の背の岩稜を戻る



途中の岩場で簡易懸垂の練習

木林を楽しみつつ、最初の大岩が気になる。トラロープ・梯子に助けられ後ろ向きに下りる。次の大岩は鎖に助けられ降りると、リーダーが「ロープで降りる練習しようか。」と。カラビナとスリングを出

し、リーダーのロープで簡易懸垂の練習。リーダーと鈴木さんが先生となり、「この位は使うことあるからね〜。」とのこと。二合目からの下りは登りでは意識しませんでした。ゴロゴロした石が多く、またまだお昼すぎというのに杉木立の中は暗く、夕方のような感じでした。三ツ瀬明神山はバラエティに富んだ素敵な山でした。

奥三河の山で会った方々は地元の方々が多く、季節やコースを替えて何度も登り、地元の山をとて自慢にされていました。我々が千葉から来たというとなぜか例外なく驚かれていましたが、今回の山はわざわざ遠方からでも十分行く価値のある山々であったと思います。

3日間晴天にも恵まれて、とても楽しい山行をどうもありがとうございました。

吉瀬（記）

